

西部緑地公園再整備基本計画策定支援業務委託 審査基準表

評価項目		評価の視点	配点
取組姿勢等【5点】			
1	趣旨や基本構想の理解、積極的な取組姿勢	・西部緑地公園再整備構想の内容を踏まえ、基本計画で具体化・精査すべき事項を的確に理解しているか。 ・構想の再提案ではなく、今後の事業化に必要な諸条件を整理した基本計画の策定に係る支援を行う目的であることを理解しているか。	5
業務遂行力【15点】			
2	業務実施体制	・本業務の遂行にあたって、役割分担が明確で、効果的かつ効率的に業務を遂行できる実施体制が確保されているか。 ・また、県の求めに応じて、打ち合わせや現地確認等に迅速に対応できる機動的な体制が確保されているか。	5
3	過去の実績・経験	大規模公園、展示施設、スポーツ施設、公共施設再整備、PPP/PFI、国費申請支援等に関する実績・知見が十分と認められるか。	5
4	業務工程	基本計画の策定について、業務工程が具体的に設定され、実現可能な内容となっているか。	5
企画提案力【75点】			
5	整備内容の具体化	再整備構想を踏まえ、各施設・機能の規模、機能等を基本計画に盛り込むために検討すべき論点や検討手法、検討プロセスが具体的に示されているか。	10
6	公園施設の具体イメージの提案	緑地空間、アーバンスポーツエリア、多目的広場、屋内こども遊戯施設について、再整備構想を踏まえた積極的な提案がなされているか。	15
7	配置計画、動線計画、段階整備及び技術的制約の検討	配置計画、動線計画、施工ステップ、雨水排水に係る技術的制約について、検討すべき論点や検討手法、検討プロセスが具体的に示されているか。	10
8	整備スケジュールの整理	各施設・機能の設計、埋蔵文化財調査、解体、整備、供用開始等の関係が整理された現実的な整備スケジュールに向けて、検討すべき論点や検討手法、検討プロセスが具体的に示されているか。	10
9	概算事業費及び維持管理費等の算定	明確な積算根拠に基づき、今後の物価上昇も加味した施設・機能別の概算事業費、維持管理費及びライフサイクルコスト等の試算に向けて、検討すべき論点や検討手法、検討プロセスが具体的に示されているか。	15
10	事業手法及び官民連携手法の検討	従来手法（分離発注方式）、DB方式（設計施工一括方式）、DBO方式、PFI方式、Park-PFI（公募設置管理制度）、その他想定される事業手法について、県負担額や整備スケジュール、地元経済効果、工期など様々な観点から総合的に比較するため、検討すべき論点や検討手法、検討プロセスが具体的に示されているか。	10
11	費用対効果算定及び財源整理	再整備で活用できそうな各種財源の整理や、国への交付金等の申請に必要な費用対効果算定に向けて、検討すべき論点や検討手法、検討プロセスが具体的に示されているか。	5
費用【5点】			
12	見積額	提案内容との比較で見積額に経済性が認められるか。	5
合 計			100